

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	141	地区市民センター維持管理事業	会計	01	一般会計
基本施策	60	市内各地域の特性を活かした分権型のまちをつくる	款	02	総務費
担当部課名	生活環境部市民生活課		項	01	総務管理費
作成者氏名	坂口孝一	22-9638	目	10	地区市民センター費
			細目	101	地区市民センター等維持管理経費
			細々目	01	地区市民センター等維持管理経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	各地区住民	成果(どうなるのか)	施設の維持管理を適正に行い、市民や自治会・自治協議会等に活動の場を提供する。
	本年度事業内容	地区市民センター(20施設)施設設備の補修等維持管理		
運営主体	直営 (委託先:)	民間委託等	根拠法令・要綱等	伊賀市地区市民センター条例
市内の類似施設				

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
支出内訳 (千円)	事業費(B)	4,287	4,258	4,260
	委託料	3,530	3,530	3,530
	修繕料	757	728	730
	その他			
合計(A+B)		7,887	7,858	7,860
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担 その他特財			
一般財源		7,887	7,858	7,860
上記 ~	に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用者延べ人数	人	140,283	140,300	140,350			
開館日数	日	359	359	359			
利用回数	回	11,232	11,300	11,350			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
利用者延べ人数	利用満足度などを指標とすべきであるが、把握が困難なため本指標を採用	人	140,283 目標 ()	140,300	140,350
利用回数	利用満足度などを指標とすべきであるが、把握が困難なため本指標を採用	回	11232 目標 ()	11,300	11,350

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<p>上野地域内の地区市民センターの老朽化が進んでおり、修繕箇所は年々増加し、建て替えの時期がきている施設もある。住民自治の拠点として今後も活用していくことから、統廃合後の学校施設の利用や改築などの地区市民センター整備計画が必要。</p>

評価	必要性	4	行政と地域をつなぎ、住民自治協議会の拠点として必要不可欠なものであり、計画的な整備が必要。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		
				A